

# インフルエンザの予防接種

【質問】他の市町でもインフルエンザの予防接種が受けられる、と最近聞きましたが、詳しく教えてください。

(34歳・主婦)



## 県内どこでも可能に

予防接種の広域化で面倒な手続きなしに、県内のどこでも自由に予防接種を受けることができるようになります。接種率の向上も期待されています。

【回答】予防接種の広域化のことだと思えます。これまででは原則として、居住地の市町でしか予防接種は受けられませんでしたが、しかし、長崎県で昨年十月から予防接種の広域化が始まり、県内のどこでも予防接種が受けられるようになりました。

過去、予防接種は主として集団接種で行われていま

したが、一九九八年に感染症法が変更され、被接種者の健康状態をよく把握しているかがりつけ医による個人的接種(個別接種)が奨励されるようになりました。集団接種による事故が多発したために、安全面を考慮して、かかりつけ医による個別接種となったのです。同時に予防接種が強制から努力義務となったため、接種

率が下がりがりつつあり、麻疹(ましん)はしかや風疹の流行が心配されています。今までもかかりつけ医が他の市町にいる場合や居住地以外の病院に入院しているときなどは、手続きを行えば他の市町で予防接種を受けることはできました。しかし、手続きが面倒なため、あまり利用されていないのが現状でした。今回の

率が上がりがりつつあり、麻疹(ましん)はしかや風疹の流行が心配されています。今までもかかりつけ医が他の市町にいる場合や居住地以外の病院に入院しているときなどは、手続きを行えば他の市町で予防接種を受けることはできました。しかし、手続きが面倒なため、あまり利用されていないのが現状でした。今回の

れています。ちなみに昨年十月から今年一月までに約一万三千人と、多くの方が予防接種の広域化を利用されています。

広域化で受けられる予防接種は三種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風)、二種混合(ジフテリア、破傷風)、麻疹・風疹混合ワクチン、日本脳炎、高齢者(六十五歳以上)らのイン

## 乳幼児は接種時期に注意

フルエンザで、インフルエンザ以外の予防接種に自己負担はありません。インフルエンザの自己負担は、居住地の市町によって異なります。

また、乳幼児の予防接種には法で定められた接種時期があり、インフルエンザには居住地の市町によって決められた接種期間があるのでご注意ください。広域化の予防接種が受けられる医療機関は、長崎県医師会のホームページ(<http://www.nassas-aki.med.or.jp/>)に掲載しています。なお、不明な点がある場合は、居住地の役所にお尋ねください。(県医師会)